

SEforALL ビルの省エネに関するワークショップを開催

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の2016年度委託事業の一環として、SEforALLのワークショップを以下の主旨にて開催した。

- (1) 目的：ASEANにおける省エネ建築基準の導入促進
- (2) 内容：日本における、省エネ建築基準適用強制化への歩みと、ビルの省エネ運用管理の現状を参考に、参加国毎の実情に即したロードマップ作成を目指し、討議・検討を行った。
- (3) 成果：ビルの省エネに向けてASEAN各国が国毎の実情に即したロードマップを作成し、その内容や方法論について、参加者間で情報共有することができた。



ワークショップの様子

今回のワークショップは、2015年に開催されたSEforALLの東京フォーラムと、ASEAN諸国を対象に長期にわたり実施してきた、ビルの省エネ基準・グリーンビル基準に関わる受入研修の二つの流れを踏まえ、ASEAN各国（8カ国）の代表者と、SEforALL関係者（C2E2、MOFA）の参加を得て、2017年2月に、東京において開催された。

内容的には、外部講師による講義（世界における建築物省エネ促進の動向、日本の建築物省エネ法の概要及びその成立にいたる経緯、世界諸都市と東京事例から見た建築物省エネ促進の動向）、ECCJによる講義（ビル省エネ推進に関わる優秀事例と、ベンチマーク制度の導入状況）、サイト見学（パナソニック汐留ビル）と、それらを踏まえた参加者間の討議等を3日間にわたって行った。

結果、各国によるビル省エネに向けたロードマップ作成に加え、ビル分野の省エネ推進における日本・ASEAN間の協力という意味においても、有意義な研修となった。

以上